

**製品名:** リン酸化 4E BP1 (Thr46) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84841

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 13 kDa; Observed MW: 15-20 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-4E BP1 (Thr46)
別名	EIF4EBP1; Eukaryotic translation initiation factor 4E-binding protein 1; 4E-BP1; eIF4E-binding protein 1; Phosphorylated heat- and acid-stable protein regulated by insulin 1; PHAS-I
遺伝子 ID	1978.0
SwissProt ID	Q13541
免疫原	ヒト eIF4EBP1 の Thr45 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

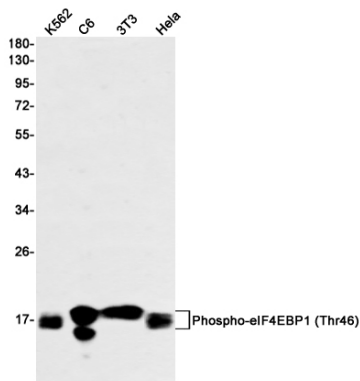
**背景**

翻訳抑制タンパク質 4E-BP1 (別名 PHAS-1) は、翻訳開始因子 eIF4E に結合してキャップ依存性翻訳を阻害します。4E-BP1 の過剰リン酸化はこの相互作用を阻害し、キャップ依存性翻訳を活性化します。PI3 キナーゼ/Akt 経路と FRAP/mTOR キナーゼの両方が 4E-BP1 の活性を制御します。

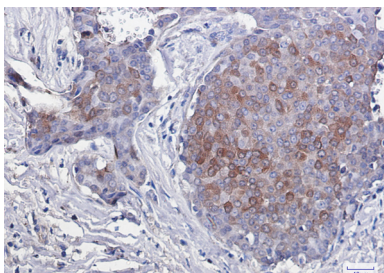
## 研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

## 画像データ



Phospho-4E BP1 (Thr46) 抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Phospho-eIF4EBP1 (Thr46) のウエスタン ブロット分析。



eIF4EBP1/eIF4EBP2/eIF4EBP3 (Phospho-T45) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。